



みつぎ便り

第190号 7月号 令和4年7月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコボリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



バーベナ

見次公園に現れたニューフェイスの花「バーベナ」について調べてみました。小さく固まって咲き、花の形が桜に似ていることから「ビジョザクラ」とも言われています。色も赤、桃、白、紫、藤、青と色々な色合いの株があり、花の色が異なる毎にそれぞれ違った花言葉を持っていて、赤は団結、桃は家族の調和、白は祈り、紫は後悔だそうです。色は不明ですが、魔力、という花言葉も

あるそうです。その理由は、昔、海外で宗教や魔法のある場面で薬草として「バーベナ」が使われていた事から、いつの間にかこの花の花言葉の一つになったようです。

「バーベナ」を乾燥させてお財布に入れておくとご利益があると、その地方では言われていたようです。日本にも、そのようなご利益のある弁天様がいらっしやるようで、こういう話は万国共通なのでしょうか。

見次公園の「バーベナ」にはそんな魔力が有るかどうかはわかりませんが、試してみようなんて、思わないで、可憐な咲き具合を楽しんでくださいね。
(静)

キンバエ

今年もまた五月蠅いとばかりに見次公園に姿を見せたのがハエです。生態も様々で日本に生息するものだけでも数千種類と言われています。このハエの中でも、目立つ存在なのがキンバエです。卵は夏季には一日で孵化します。孵化した幼虫のウジは腐肉や糞を食べ、夏季には五日で

サナギになり、さらに六日で成虫になります。ウジはサシとも呼ばれて川釣りの餌に使われています。

ハエは「五月蠅い」「蠅武者（ハエのように取るに足りない武者）」などの当て字や蔑称にも生活との関わりが深さがうかがえます。俳句にもよく読まれ、一茶の「やれ打つな蠅が手をすり足をする」が有名ですが、近代に俳諧から一挙に俳句へ大改革を成し遂げた正岡子規にも次のような句があります。

三尺の 鯛や蠅飛ぶ 台所

正岡 子規

この句に詠まれたハエは、情景から言ってキンバエに間違いありません。
(薫)

